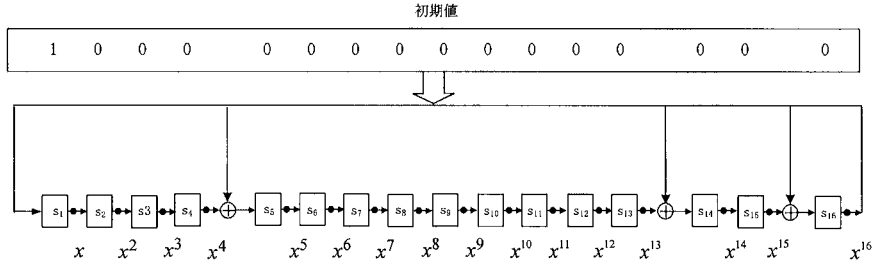
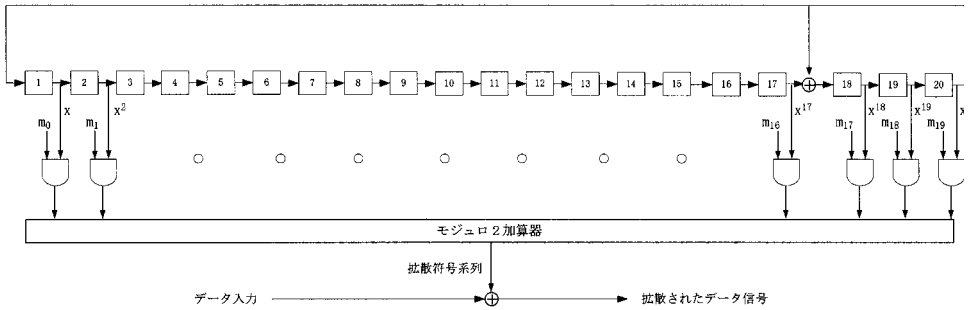
4　16タップ線形帰還シフトレジスタは、次のとおりとする。



5　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。

別記３　電力拡散

$X^{20}+X^{17}+1$の線形帰還シフトレジスタにより発生する拡散符号系列を各スロットに割り当てられた信号に加算する。



注１　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。

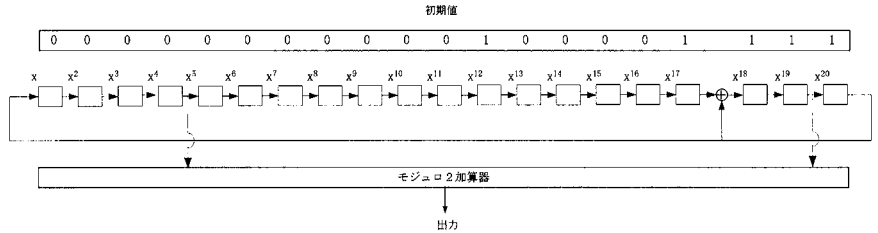
2　レジスタの初期値は、シンボル番号及びシンボルの種別により与えられる値とする。

3　$m_0, m_1, \cdots, m_{19}$は、スロット番号により与えられる値とする。

4　モジュロ２加算器は、全ての入力信号を加算した値を２で除した余りを出力するものとする。以下同じ。

別表第十九号の十九　ＴＤＭパイロット１信号の構成及び送出手順（第22条の19第１項関係）

ＴＤＭパイロット１信号は、下図に示す発生器により$２\times N_{TDM1}$ビット発生させるものとする。



注１　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。

2　N_{TDM1}はＴＤＭパイロット１シンボルが配置されるサブキャリア数とし、その値は共通サブキャリア総数により下表のとおりとする。

共通サブキャリア総数	N_{TDM1}
1024	30
2048	62
4096	124
8192	250

別表第十九号の二十　ＷＩＣ信号、ＬＩＣ信号、ＴＤＭパイロット２信号及びＦＤＭパイロット信号の構成及び送出手順（第22条の19第２項関係）



注１　ＷＩＣ信号、ＬＩＣ信号及びＦＤＭパイロット信号のスロット割当てはそれぞれスロット番号３、スロット番号５及びスロット番号０とする。

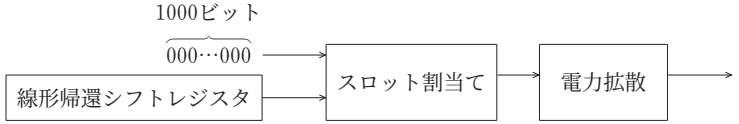
2　ＴＤＭパイロット２信号のスロット割当ては、共通サブキャリア総数により別記のとおりとする。

3　電力拡散は、別表第十九号の十八別記３に示すとおりとする。

別記　ＴＤＭパイロット２信号のスロット割当て

共通サブキャリア総数	割当てスロット番号
1024	１，７
2048	０，１，２，７
4096	０，１，２，７
8192	０，１，２，３，４，５，６，７

別表第十九号の二十一　ＴＰＣ信号の構成及び送出手順（第22条の19第３項関係）



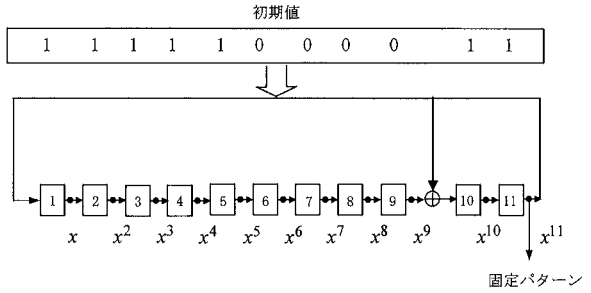
注１　線形帰還シフトレジスタは、別記に示すとおりとする。

2　1000ビットの０により構成される符号系列のスロット割当てはスロット番号０、線形帰還シフトレジスタにより生成される符号系列のスロット割当てはスロット番号１から７とする。

3　電力拡散は、別表第十九号の十八別記３に示すとおりとする。

別記　線形帰還シフトレジスタ

線形帰還シフトレジスタは、下図に示す発生器により1000ビット発生させるものとする。



注　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。